

平成24年度決算概要報告

◆法人全体

項目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	H24決算	H24当初予算	予算差引 (①-②)	H23決算	前年度差引 (①-④)	
経常費用合計	62,013	61,134	878	59,409	2,604	[大学部門] 外部研究費支出の増に伴う研究経費増(+334) [法人全体] 人件費増(+928) [2病院] 診療経費増(+887) 等
経常収益合計	62,726	60,935	1,791	59,690	3,035	[法人全体] 運営交付金収益の増(+850) [2病院] 附属病院収益の増(+1,839) [大学部門] 外部研究費獲得等の増(+117) 等
経常利益	712	▲199	912	281	431	
臨時損失	13	-	13	7	6	
臨時利益	82	-	82	2	80	[附属病院] リース資産の耐用年数の修正による過年度分の減価償却費の戻入(+74) 等
当期純利益	781	▲199	980	276	505	
目的積立金取崩額	313	199	114	100	213	[法人全体] 退職手当中期計画第1期執行残高相当額の取崩に伴う増(+174) 等
当期総利益	1,095	-	1,095	376	718	

経常収支比率 ^{※2}	101.1%	99.7%	1.5%	100.5%	0.7%
----------------------	--------	-------	------	--------	------

<法人共通コメント>

【費用】

- ・補助金、受託研究費等外部資金における費用の増加等に伴い、研究経費が増加しております。(+334百万円)
- ・医療職教職員の確保・増員等により、法人全体における人件費が増加しております。(+928百万円)
- ・附属2病院において、診療収入の増加に伴う医薬材料費等診療経費が増加しております。(+887百万円)
- ・センター病院において、H23年度(前年度)に新医療情報システム(電子カルテ)の更新を行ったことにより、減価償却対象資産が増加した結果、法人全体の減価償却費が増加しております。(+451百万円)

【収益】

- ・附属2病院については、H23年度に比べ、施設整備等(固定資産の取得)に係る支出が減少したこと、大学については、学費対象経費交付額が増加したこと等により、運営交付金収益が増加しております。(+850百万円)
- ・診療単価(入院・外来)の増加及び入院(附属病院)、外来(センター病院)患者数の増加等により附属2病院における附属病院収益が増加しております。(+1,839百万円)
- ・大学部門において、外部研究費獲得額の増加(補助金)や奨学寄附金等費用計上の増加を受け、収益が増加しております(+117百万円)

【その他】

- ・平成24年度決算において、法人全体としては、経常利益712百万円に臨時損益を加減した当期純利益は、781百万円、目的積立金取崩を含めた当期総利益は、1,095百万円を計上する結果となりました。

<凡例>

- ・表における各数値は単位未満を切り捨てて表示しているため、見た目の計算結果が合わないことがあります。
- ・「経常利益」「当期純利益」「当期総利益」の項目名については、数値がマイナスの場合にはそれぞれ「経常損失」「当期純損失」「当期総損失」と記載するのが本来の表記方法ですが、この表では便宜上「～利益」に表記を統一しています。

※1 人件費比率(大学) = 人件費 / 経常収益
(病院) = 人件費 / 附属病院収益

※2 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

※3 医薬材料費比率 = (前年度繰入分+当期医薬材料費-翌月(年)繰越分) / 附属病院収益
繰入分、繰越分はそれぞれ前年度末と当年度末の医薬品および診療材料たな卸資産額

※参考: 週刊ダイヤモンド2012年10月27日号
「特集 頼れる病院 消える病院」より
(「頼れる病院ランキング」満点基準)

- ・病床利用率: 90%以上
- ・平均在院日数 15日未満
- ・人件費比率: 50%未満
- ・経常収支比率: 100%以上

項 目	①	②	③	④	⑤	対前年度増減理由
	H24決算	H24 当初予算	予算差引 (①-②)	H23決算	前年度差引 (①-④)	
教育経費	1,457	1,608	▲151	1,409	47	電気料金単価値上げによる増(+40)
研究経費	2,822	2,598	224	2,488	334	補助金等費用増(+129)、受託研究費費用増(+74)、電気料金単価値上げによる増(+43)
人件費合計	7,054	6,787	266	6,602	452	
役員人件費	40	40	-	39	-	
教員人件費	5,412	5,046	366	5,002	410	・セグメント振替の増(+215) ・退職手当の増(+94) ・教員数の増(期末時点+11人) ・職員数の増(期末時点+5人)
職員人件費	1,601	1,701	▲99	1,560	41	
一般管理費等	697	718	▲20	727	▲29	・施設管理費の減(▲14)、H23単年度要因(▲3・東日本大震災による入学金減免の実施)等
減価償却費	712	701	11	758	▲45	受託研究期間終了に伴う減価償却の終了(▲67)、科学研究費による資産取得増に伴う減価償却費の増(+17)
経常費用合計	12,744	12,415	329	11,986	758	
運営費交付金収益	6,619	6,636	▲16	6,515	103	学費対象経費交付額の増(+108)
授業料収益等	2,929	2,934	▲5	2,957	▲28	志願者数減による入学検定料の減(▲11) 大学院入学者数減による入学金の減(▲13)
外部資金合計	2,037	1,740	296	1,919	117	
受託	747	581	165	735	12	獲得件数(169件→175件) ※収益増は受入額ではなく、費用計上額の増による。
奨学寄附金	594	631	▲37	565	28	獲得件数(755件→713件) ※収益増は受入額ではなく、費用計上額の増による。
補助金	695	527	168	618	76	補助金新規獲得による増(+8件・総額141)
資産見返負債戻入	594	569	25	573	21	市承継資産償却終了に伴う戻入収益減(▲12)、補助金等外部資金による資産取得増に伴う減価償却費の増(+33)
雑益等	590	457	133	540	49	科学研究費補助金・基金獲得増に伴う間接経費収入の増(+39)
経常収益合計	12,771	12,337	433	12,506	264	
経常利益	26	▲77	104	520	▲493	
臨時損失	5	-	5	7	▲1	
臨時利益	7	-	7	1	6	
当期純利益	28	▲77	106	514	▲485	
目的積立金取崩額	147	77	69	42	104	退職手当第1期執行残を当期退職手当に充当(+53) 先端医科学研究センター建設費関連(+40)等
当期総利益	175	-	175	556	▲380	

人件費比率 ^{※1}	55.2%	55.0%	0.2%	52.8%	2.4%
経常収支比率 ^{※2}	100.2%	99.4%	0.8%	104.3%	▲4.1%

※1 大学人件費比率 = 人件費 / 経常収益
 中期計画期間内達成目標: 53%未満
 ※2 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

◆附属病院

(単位:百万円)

項 目	① H24決算	② H24 当初予算	③ 予算差引 (①-②)	④ H23決算	⑤ 前年度差引 (①-④)	対前年度増減理由
診療経費	11,287	11,360	▲72	10,827	460	入院患者数の増や手術件数の増等に伴う医薬材料費の増(+294)
うち医薬品費	4,786	4,476	310	4,606	180	
うち材料費	2,565	2,583	▲18	2,451	114	
教育・研究・受託研究・ 一管等	447	489	▲42	456	▲9	未収附属病院収入(過年度分)の損失計上(H23のみ:▲63)、受託研究費の増(151←130、+21)
人件費	10,409	10,459	▲50	10,374	34	
教員人件費	1,735	1,927	▲192	1,930	▲195	セグメント別人件費振替の減(306←467、▲161) 退職手当の増(27←5、+22)
職員人件費	8,674	8,532	141	8,443	230	退職手当の増(99←27、+72) 退職給付引当金の増(196←142、+54) 看護師等の職員増による増
減価償却費	1,333	1,334	▲0	1,248	85	救急病床の整備やMRIのオーバーホール等による償却資産の増
経常費用合計	23,478	23,644	▲166	22,907	570	
運営費交付金収益	2,428	2,426	1	2,188	240	23年度に比べ施設整備等固定資産の取得に係る支出が減少したことによる収益化額の増 退職手当に係る23年度からの繰越額(39)
附属病院収益	20,584	20,345	238	19,555	1,029	診療単価増(入院・外来)及び患者数の増(入院)
資産見返負債戻入	305	332	▲26	274	31	資産取得増に伴う増(⇒減価償却費を参照)
補助金等収益	166	194	▲28	183	▲16	臨床研修費補助金の減(53←63、▲10)
雑益等	381	290	90	322	58	受託研究等収益の増(160←131、+29) 業務運営手数料の増(42←24、+18)
経常収益合計	23,866	23,589	276	22,523	1,342	
経常利益	387	▲55	442	▲384	771	
臨時損失	7	-	7	-	7	固定資産除却損(7)
臨時利益	74	-	74	-	74	立体駐車場リースの耐用年数の訂正による過年度分減価償却費の戻入(74)
当期純利益	453	▲55	509	▲384	838	
目的積立金取崩額	115	55	60	24	90	退職手当第1期執行残を当期退職手当に充当(+87)等
当期総利益	569	-	569	▲359	928	

入院単価	64,884円	65,200円	▲316円	63,323円	1,561円	
入院患者数(のべ数)	213,149人	212,573人	576人	207,105人	6,044人	
病床利用率	90.8%	90.0%	0.8%	88.7%	2.1%	
平均在院日数	15.7日	16.0日	▲0.3日	16.4日	▲0.7日	
外来単価	13,727円	12,977円	750円	13,001円	726円	注射料の増等による増
外来患者数/1日	1,902人	1,932人	▲30人	1,918人	▲16人	
手術件数	5,727件	5,765件	▲38件	5,263件	464件	
看護師数	710人	716人	▲6人	698人	12人	
医薬材料費比率 ^{※3}	35.7%	34.7%	1.0%	36.1%	▲0.4%	
人件費比率 ^{※1}	50.6%	51.4%	▲0.8%	53.1%	▲2.5%	附属病院収益の増及び教員人件費の減等
経常収支比率 ^{※2}	101.7%	99.8%	1.9%	98.3%	3.3%	

※※単価、患者数等は小数点以下を表示していないため、見た目の計算結果が合わないことがあります

※1 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益
中期計画期間内達成目標: 50%未満

※2 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

※3 医薬材料費比率 = (前年度繰入分+当期医薬材料費-翌月(年)繰越分) / 附属病院収益
繰入分、繰越分はそれぞれ前年度末と当年度末の医薬品および診療材料たな卸資産額
中期計画期間内達成目標: 35%未満

※参考: 週刊ダイヤモンド2012年10月27日号
「特集 頼れる病院 消える病院」より
「頼れる病院ランキング」満点基準)

- ・病床利用率: 90%以上
- ・平均在院日数 15日未満
- ・人件費比率: 50%未満
- ・経常収支比率: 100%以上

◆センター病院

(単位:百万円)

項 目	① H24決算	② H24 当初予算	③ 予算差引 (①-②)	④ H23決算	⑤ 前年度差引 (①-④)	対前年度増減理由
診療経費	12,560	11,911	648	12,132	427	診療単価増(入院・外来)及び患者数の増(外来)に伴う医薬材料費の増(下記、+477)、修繕費の減(290←333、▲43)
うち医薬品費	4,912	4,347	565	4,497	415	
うち材料費	3,455	3,310	145	3,396	59	
教育・研究・受託研究・ 一管等	385	486	▲100	391	▲6	
人件費	11,658	11,644	14	11,216	441	
教員人件費	1,853	2,056	▲203	1,772	80	医学部定員増に伴う人員増等(月平均+10人)
職員人件費	9,804	9,587	217	9,443	360	常勤看護師(+35人)等
減価償却費	1,186	1,032	153	774	412	23年度に新医療情報システム(電子カルテ)の更新等を行ったことによる償却対象資産額の増
経常費用合計	25,790	25,074	715	24,515	1,275	
運営費交付金収益	1,075	1,067	7	568	506	23年度に比べ施設整備等固定資産の取得に係る支出が減少したことによる収益化額の増
附属病院収益	24,277	23,307	969	23,466	810	診療単価増(入院・外来)及び患者数の増(外来)
資産見返負債戻入	261	219	42	195	66	資産取得増に伴う増(⇒減価償却費を参照)
補助金収益等	106	128	▲22	122	▲15	運営費補助金の減(56←69、▲13。うち周産期環境整備補助金の減▲7)
雑益等	368	284	83	307	60	受託研究等収益の増(178←142、+36) 業務運営手数料の増(47←28、+19)
経常収益合計	26,089	25,008	1,081	24,660	1,428	
経常利益	298	▲66	365	145	153	
臨時損失	0	-	0	-	0	
臨時利益	-	-	-	-	-	
当期純利益	298	▲66	365	145	152	
目的積立金取崩額	51	66	▲14	33	18	退職手当第1期執行残を当期退職手当に充当(+35)等
当期総利益	350	-	350	179	171	

入院単価	70,225円	67,866円	2,359円	67,939円	2,286円	
入院患者数(のべ数)	237,993人	238,862人	▲869人	239,589人	▲1,596人	
病床利用率	89.8%	90.1%	▲0.3%	90.2%	▲0.4%	年始の利用率低迷(1月:85.4%)による減
平均在院日数	14.1日	14.8日	▲0.7日	14.8日	▲0.7日	
外来単価	14,724円	14,069円	655円	13,995円	729円	注射料の増等による増
外来患者数/1日	1,970人	1,917人	53人	1,965人	5人	
手術件数	7,341件	7,200件	141件	7,155件	186件	
看護師数	894人	883人	11人	859人	35人	
医薬材料費比率 ^{※3}	34.5%	32.9%	1.6%	33.6%	0.8%	医薬品費の増
人件費比率 ^{※1}	48.0%	49.9%	▲1.9%	47.8%	0.2%	教職員の増及び退職職給付引当金繰入額等の増
経常収支比率 ^{※2}	101.2%	99.7%	1.4%	100.6%	0.6%	

※※単価、患者数等は小数点以下を表示していないため、見た目の計算結果が合わないことがあります

※1 病院人件費比率 = 人件費 / 附属病院収益
中期計画期間内達成目標:50%未満

※2 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用

※3 医薬材料費比率 = (前年度繰入分+当期医薬材料費-翌月(年)繰越分) / 附属病院収益
繰入分、繰越分はそれぞれ前年度末と当年度末の医薬品および診療材料たな卸資産額
中期計画期間内達成目標:33%未満

※参考:週刊ダイヤモンド2012年10月27日号
「特集 頼れる病院 消える病院」より
(「頼れる病院ランキング」満点基準)

- ・病床利用率:90%以上
- ・平均在院日数15日未満
- ・人件費比率:50%未満
- ・経常収支比率:100%以上